

家族で「気軽な話し」していますか？
富田富士也先生が「子育て講演会」



市教育委員会と市PTA連合会は、子育てにおける家族のコミュニケーションの大切さについて考えることを目的として、教育心理カウンセラーの富田富士也先生を迎え、12月18日、「子育て講演会」を開催しました。会場のありえコレジヨホールには、教育関係者をはじめ、PTA会員や一般参加者らが大勢詰めかけました。

富田先生は、「子どもが親に甘えられ、家族で話を気軽に出来るコミュニケーションがとれる家庭環境を創ることが大切だ」と強調しました。またユーモアを交え、詩の朗読や歌声も披露しながら、家族の人間関係や地域社会の交流の大切さを紹介。

参加者は先生の話に魅了され、感動を受けている様子でした。

南島原市の総合力で入賞
第1回 地区選抜
小学生バレーボール大会



長崎県ジュニアバレーボール選手育成事業・地区選抜小学生バレーボール大会が、昨年12月16日諫早市の森山東小学校であり、南島原市選抜チームが出場。この日のために平日の夜や土・日を利用して練習した市選抜チームは見事3位に入賞しました。今後の活躍も期待しています。

商工会若手後継者等育成事業
北川正恭氏 講演会



ローカルマニフェストで有名な早稲田大学大学院教授の北川正恭氏(前三重県知事)の講演会が、昨年12月21日ありえコレジヨホールであり、市内の商工会関係者など約450名が今後の地方のあり方について学びました。

講演会で北川氏は、財政破たんした夕張市での成人式を例に「お金をもらって行く成人式ではなく、『自分達で手作りの成人式をしよう』と立ち上がった女性こそ、市の宝であったと気づくべきです。つまり市民一人一人が意識を改革し、市全体の協働が必要不可欠。改革とは人を変えることではなく、自分が変わることです」と話しました。

いざ全国大会へ
布津中学校女子ソフトテニス部



九州各県の新人大会上位3チームが集まり、第22回九州ジュニア選抜ソフトテニス大会が熊本県の「パークドーム熊本」であり、長崎県代表で出場した布津中学校女子ソフトテニス部が3位に入賞しました。予選リーグでは沖縄・福岡県代表チームを破り1位で通過。準々決勝では熊本県の西原中学校を下したものの準決勝で惜しくも敗れ3位。総合力で戦い抜き、今年3月末に行われる全国大会への出場権を手に入れました。

心のこもったお年玉
「ひょうたん」51個をプレゼント



新年を迎え、縁起物のひょうたんを子どもたちへ…。有馬愛瓢会(あいひょうかい)会長の小松茂延さんは、手作りのひょうたん51個を、北有馬幼稚園児へプレゼントしました。この手作りひょうたんは、収穫したものを水につけ、中身の処理、乾燥、そして色づけなど多くの工程を要します。小松さんは、子どもたちの幸せを願いながら、園児一人一人に手渡しました。

最後に、園児が小松さんに元氣よくお礼のごあいさつ。今年も子どもたちにたくさんの「幸せ」「福」がありますように…。

キラリと光る地域活動で表彰
水土里(みどり)ネット
おあげ(尾上土地改良区)



全国水土里ネット(全国土地改良団体連合会)は、土地改良を農業者のためだけでなく、地域のための土地改良として捉え、さまざまな活動を行ったとして西有家尾上土地改良区に「21世紀土地改良区創造運動さなえ賞」を贈りました。

水土里ネットおあげでは、土地改良区をはじめ、PTA、小学校、子ども会育成会、消防団などが、自然の大切さとそれを守るためのボランティア精神を理解してもらう活動を行っており、今回の受賞となりました。



世界遺産リスト入りを願って
北有馬町でフェスティバス・ナタリス

本市の冬を代表するイベント、フェスティバス・ナタリスが昨年12月22日、北有馬町で行われ、400年前の戦国時代のクリスマスを再現しました。

今回の目玉は、南蛮屏風を元にした戦国時代のクリスマス行列の再現。ポルトガル人や宣教師たちを生き生きと描いた南蛮屏風の世界を参考に、今回のフェスティバス・ナタリスで当時と同様に城下町の通りを宣教師、天正遣欧少年使節、ポルトガル人に扮して行列を再現しました。幽玄なたいまつ灯りと聖歌隊のグレゴリオ聖歌は当時のクリスマスを想像させてくれました。

これまでの北有馬町内3つの祭りを併せたこのイベントは、きたありま夢組をはじめとした県内各地のよさこいグループによるYOSAKOI(よさこい)演舞やミニコンサート、農産物の展示即売会やフリーマーケットなど、会場は熱気があふれ、まさに「冬なのに熱い」イベントになりました。



「ひょつる」食べたことありますか？
長崎県水産加工振興協会長賞を受賞

長崎県水産加工振興祭水産製品品評会が昨年12月に開催され、漁村加工部門で南有馬町の「長崎・漁師生産組合(中村和喜代表)」の『ひょつる』が長崎県水産加工振興協会長賞を受賞しました。

※ひょつるとは、新鮮なわかめを原料とした麺のことで、低カロリーでヘルシーな自然食品です。



ガンバレ加津佐中学校卓球部！
九州大会(男女)・全国大会(女子)出場

加津佐中学校卓球部は、昨年12月に行われた日名子杯争奪卓球大会において優秀な成績を収め、2月23～24日の九州大会へは男女とも、3月29～30日に茨城県で行われる全国大会へは女子卓球部が出場します。



1日も早い一軍入りを目指しています
野原将志選手が市長に近況報告



昨年の高校野球ドラフト1位で阪神に入団した野原将志選手が、年末の28日市役所を訪れ、松島市長へ近況を報告しました。松島市長は「1年間プロとしてプレーした感想は？」との問いかけに対し、「それまで(高校野球時代)と比べてレベルの違いを強く感じました。今は1年間(プロで)やってこれた自信というより、手応えを感じています」と話しました。また、「一軍でプレーをして初めてプロ野球選手だと思っています」と厳しい表情で言葉を付け加え、一流選手がひしめき合う世界でのポジション争いの厳しさをうかがわせました。野原選手の堂々とした表情や言葉一つ一つは、近い将来の一軍入りを十分に期待させるものでした。